

平成28年度使用大崎上島町中学校用教科用図書採択

種目	発行者	採 択 理 由
国語	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標や付けたい力については巻頭に一覧がある。また、各学習材の初めにも学習目標が書かれている。 ・ 学習活動の手順（上段）に沿って具体例が（下段）に示されている。学習のポイントは「言葉の力」として囲みで示されている。 ・ 理数教育教材として自然科学を取り上げた説明的文章を各学年で配列している。 ・ 読書案内はテーマやジャンル別でまとめてあり、全て表紙写真と紹介文がついている。 ・ それぞれの学習材で身に付けさせたい知識技能のポイントが「言葉の力」として明示されて、言語活動の手順も明確である。
書写	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢、筆記具の持ち方について正しいものや間違っものを写真や絵、図で示してある。 ・ 生活や学習に生かす例として、ノートの書き方（分かりやすい情報の整理の仕方）がある。 ・ 日常の書式などの作品例などは各学年系統性がある。 ・ 各学年で「職場訪問をしよう」など学習指導要領の「言語活動例」を意識したテーマが設定され、その学習に必要な一連の活動が写真とともに示してある。さらに注意事項が「学習のポイント」「しょしゃのつぼ」として明記してある。（2学年「防災訓練に参加しよう」3学年「文化祭や卒業に向けて」「志願理由書」）
社会 (地理的分野)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章の始めには、関連する小学校の内容が記載されており、小中の接続を意識した指導ができる。 ・ 章末には、重要語句確認の問題があり、基礎的な学習内容が定着するようになっている。 ・ 各章には「深めよう」や「地理のスキルアップ」、「地理にアクセス」に加え、「調査の達人」コーナーがあり、主体的に学べる工夫がある。 ・ 「ためしてみよう」コーナーで、図版に書き込みをする欄が設けられており、その場で学習内容の確認ができる。 ・ 見開きの右側のページの下に、「確認」コーナーがあり、学習した内容を箇条書きや3つの語句を使うなどして説明させるようにしている。
社会 (歴史的分野)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野関連マークがあり、地理・歴史との関連が分かるようにしている。 ・ 章頭には、小学校における学習内容が掲載されており、また、章末の年表に新たに学習した内容が付け加えてある ・ 「深めよう」コーナーが13事例あり、図版資料などを多く使って、生徒が興味・関心を持って歴史事象を追究できるように工夫されている。 ・ 巻頭で日本の世界遺産を紹介するなど、各所で文化を記述している。 ・ 小さな資料は実物大で、大きな資料にはサイズをつけて、具体的にイメージできるように工夫されている。 ・ 章末では、歴史的背景について考えさせたり、どのようなことが印象に残ったかなどを話し合わせたりするなど様々な表現方法で、言語活動の充実を図っている。
社会 (公民的分野)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野関連マークがあり、地理・歴史との関連が分かるようにしている。 ・ 章頭には、小学校における学習内容が掲載されている。 ・ 大単元の導入において、1ページに半ページ程度の写真が1枚と小さめの2枚の写真が掲載されている。写真はその単元に関係する社会的事象で、それぞれの写真に対して、キャラクターが「どうして」「どのような」という形式の問いを発している。 ・ 中単元末の「伝統文化の継承と私たち」で、さらに学習を深めている。 ・ 多面的・多角的に考えさせる事例として、「深めよう」が8事例、「公民にチャレンジ」が20事例を設けている。

平成28年度使用大崎上島町中学校用教科用図書採択

<p>地 図</p>	<p>帝国書院</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域や日本の諸地域の特色について、どのような主題や考察の仕方を定めても対応でき、またそれぞれの基礎的・基本的な内容を習得ができるよう資料図等が豊富に掲載してある。 地図帳全般にわたって、随所に「やってみよう」や「地図を見る目」などを設け、地図を見る際の着眼点を示す、地図の活用（読図、作図）を促すなど、体験的な学習が多くできるようにしている。 世界の各州、日本の諸地域とも、一般地図のあとに、学習指導要領に示されたどの考察の仕方からでも学習できるように各種資料図が配置されている。 版型を横にひと回り大きくし、また見開きを使うなどして国土の全体像や地域間のつながりが見やすく、そして的確に把握できるよう工夫されている。 言語活動の充実を図るものとして、「やってみよう」や「地図を見る目」などが一般地図や資料に随所に設けられ、地図を見る際の着眼点を示したり、読図や作図など地図の活用を促したりするようにしている。
<p>数 学</p>	<p>学校図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習する内容の目標が示してある。 節末に既習事項の振り返りができる問題がある。数学的な考え方を解説している。また、巻末の「さらなる数学へ」では、学習したことがらをレポートにまとめたり、探究的な学習をするための内容が取り上げられたりしている。 各領域の章のとびらの前には、振り返りのページがあり、既習事項の確認ができるようになっている。 パラパラ漫画により、図形の理解ができるようになっている。 巻末に協同学習のページがあり、レポートの作成、発表のしかたが学年に応じた内容で説明されている。
<p>理 科</p>	<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の、「学習のまとめ」で単元全体の基本的な内容の確認や整理復習ができる付録の青色シートを使うと重要語句が消え、基本用語などの反復練習ができる。「力だめし」「学年末総合問題」で到達度を知ることができる。 「マイノート（問題集）」が別冊についており単元の学習内容を確認するための問題を設けている。グラフの書き方などを、実際に書いて練習することができる。 巻末の「きみも科学者」の中に、「探究の道しるべ」として、問題解決の過程を取り上げている。 観察・実験では、目的、方法、結果、考察を区別し探究の流れがわかりやすくなっている。 「発展的な学習」に関わる読みものや観察実験等に関わる分量が多い。 カラーユニバーサルデザイン機構に申請中であり、実験結果における色名表記がある。 「わたしのレポート」で具体例を掲載し、朱書きで解説している。また、「レポートのまとめ方」を掲載している。 別冊「マイノート」に、話し合う内容について、自ら書き込んで表現する場面を設定している。
<p>音 楽 (一 般)</p>	<p>教育芸術</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音符、音楽記号、リズムについての学習においてゲーム的要素を取り入れており、反復学習ができるようになっている。 「Greade up」では、楽曲の構成等を理解するため、段階的に学習できるよう工夫されている。感じたことや工夫したことが直接記入できる。 音楽学習 MAP で、1年間で何を学習するのか、何を身に付けていくのかがひとめで分かるようになっている。また学習の窓口で示されているカラーの記号で、音楽の諸要素の何をポイントに学ぶのか確認できる。表現・鑑賞領域において考えや工夫したこと、知覚・感受したことを直接記述できるようになっている。

平成28年度使用大崎上島町中学校用教科用図書採択

<p>音楽 (器楽)</p>	<p>教育芸術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演奏する上でのポイント等がQ&A形式で表記されている。 ・ 打楽器に関しては、その中でも12種類の奏法を解説しており、基本的な奏法を身に付けるための練習リズムも掲載している。 ・ 目次の前のカラーページで、リコーダーやギターが大編成の中で活躍する編成の写真や、尺八・篠笛の様々な大きさの写真を掲載している。 ・ 「ここがわかれば Grade up」友達と話し合いながら、アーティキュレーションを工夫するように示してある。
<p>美術</p>	<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材ごとに「学びのねらい」を示しどんな力が付いたか確かめながら学習を進めるようにしている。 ・ 問題解決的な学習の工夫が見られる。 ・ 浮世絵を原寸大で和紙に刷り掲載し、触覚と視覚を働かせて鑑賞できる。 ・ A4ワイド判のサイズである。作品も大きく細部まで鑑賞しやすい。 ・ 大きな図版や具体的な作品解説、作者の言葉を多く掲載したことで、発想・構想のヒントになり、言語活動の充実につながる。
<p>保健体育</p>	<p>学研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習の目標」が提示してあり、学習の展開への見通しができている。 ・ 毎時の授業が「ウォームアップ」⇒「知識の習得」⇒「活用しよう」の一連の流れとしてある。 ・ 各章のはじめに見開きで章の見通しを持たせる説明と「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」があり、トピックスがある。 ・ 各ページに情報サプリとして学習内容に関連したミニ知識が明記されている ・ 章末の「探求しようよ!」「章のまとめ」の活用の問題では協働的な学習もできるような工夫がなされている。
<p>技術家庭 (技術分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章末に「まとめ」と「章末問題」が見開きで設けられ、学習状況を自己評価できるようにしている。 ・ 各学習内容が、「知る」、「できる」、「考える」を繰り返している。 ・ 各内容の系統性は、基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。 ・ 生徒が自分の視点から見た写真や図版を使用し、理解を促すようにしている。 ・ 各学習項目では、「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの導入課題を設けて生徒に問題意識を持たせ、自ら解決しようとする能力を養うようにしている。
<p>技術家庭 (家庭分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な技能の定着のため、写真やイラストを用いて解説されている。特に、1本のきゅうりから多様な切り方ができていることが示されている。また、スナップつけ、まつり縫いは、写真とイラストで解説されている。 ・ 「生活の課題と実践」では、課題学習の進め方の流れが統一され、「ステップ」で示され、生活に生かせる活動や実践が写真で示されている。 ・ 発展的な内容は、「参考」、「探究」、「発展」などのコラムおよび参考応用実習例として提示されている。 ・ 「話し合ってみよう」の課題提示やロールプレイング等の言語活動を取り入れた活動例がある。

平成28年度使用大崎上島町中学校用教科用図書採択

英 語	教育出版	<ul style="list-style-type: none">• 各 Part において簡潔な基本文とそれに対するポイントが書かれており、また、単語を入れ替えて練習できる問題もある。• 別冊の Essentials で、教科書で学んだ内容を様々な活動を通して活用を図ることができる。• 各学年に「辞書についていっしょに学ぼう!」のページを配置し、辞書の使い方について実践的な記述がある。• 各 Lesson が Hop、Step、Jump の構成となっている。Jump では Task で Lesson を振り返る活動、Project では既習事項を用いて様々な表現ができるような活動が取り入れられている。• Activity の Tool Kit はイラストや写真が多く、活動内容がイメージしやすい。また、自己表現にも活用できるような表現が取り入れられている。• Project では、各 Part で積み上げた4技能を活用して、生徒自身が考えたり、発表したりする力を培うことができる。
-----	------	--